



第98回九州林政連絡協議会が開かれる＝宮崎市

中では、「各県が連携した原木

は、引き続きの会議

の開催は、各県

の協賛による

もので、今回は

林業の振興に資

することを目的

に開かれた。今

回は、野庁から

飯塚淳治山課水

源地地治山対策

室長を迎え、九

州各県や関係機



ペレット製造過程を見学＝小林市

を

見学

した。

は、

引き続き

の会議

は、

各県

の協

賛

による

もの

で、

今回

は、

林業

の振

興に

資す

るこ

を目

的に

開

かれ

た。

今

回は

、野

庁

から

飯

塚

淳

治

山

が連携した原木

は、引き続き

の会議

は、各県

の協

賛

による

もの

で、

今回

は、

林業

の振

興に

資す

るこ

を目

的に

開

かれ

た。

今

回は

、野

庁

から

飯

塚

淳

治

山

課

水

源

地

治

が連携した原木

は、引き続き

の会議

は、各県

の協

賛

による

もの

で、

今回

は、

林業

の振

興に

資す

るこ

を目

的に

開

かれ

た。

今

回は

、野

庁

から

飯

塚

淳

治

山

課

水

源

地

治

の連携強化などを図り、九州地

第98回九州林政連絡協議会を開催

九州の森林・林業・木材産業の課題を議論

流通への取り組みや「木質バイオマス発電計画と原料の安定供給への対応」について議論が

域における森林・林業・木材産業の振興に資することを目的に開かれているもので、今回は林野庁から飯塚淳治山課水源地地治山対策室長を迎え、九州各県や

関係機関から約38人が出席しました。一日目の会議では、はじめに協議会の会長である川端省三九州森林管理局長が挨拶。全国に先駆け主伐期を迎えている九州では、更新を踏まえた持続的な林業経営と木材のカスケード利用を各機関が連携して確立していかねばならないと述べました。

二日目の現地視察では、宮崎県小林市で林地残材などを原料としてペレット製造を行う宮崎ウッドペレット株式会社を訪れ、施設の様況、事業の仕組などについて説明を受けました。その後、木材加工技術の研究を行っている宮崎県木材利用技術センターを訪れ、実験設備などの見学を行いました。

木材加工技術の研究施設を見学





北薩森林管理署

出水森林事務所

首席森林官 森永 敏朗

北薩森林管理署管内の矢筈岳標高687㍎は、九州百名山の一つで、熊本県水俣市と鹿児島県出水市の県境に位置しており、角度により三角錐の端麗な姿を見せることから「出水富士」と



三角錐をした端麗な姿の矢筈岳

「出水富士」と呼ばれる「矢筈岳」687㍎

しても知られています。矢筈岳に登る登山口として①鹿児島県出水市加紫久利(かしくり)神社②鹿児島県出水市大平(矢筈林道終点)③熊本県水俣市袋④熊本県水俣市招川内(まんば)の4つのルートがあり山頂目指しての急坂の連続となっていて、



尊皇思想家高山彦九郎が詠んだ歌詞の石碑

の展望はありませんが岩頭から眺める不知火海天草諸島、雲仙方面を眺望できるパノラマが広がり、山頂から見れる日の出が美しいことから正月などには多数の登山者が訪れます。山頂に到着すると、吉田松陰や幕末の志士達に影響を与えた尊皇思想家、高山彦九郎が1792年(寛政4)長崎から熊本を経て薩摩に入り3月



山の神様を祀った祠

4日に出水市側から矢筈岳に登ったときに詠んだ歌「草も木もなびかさんとや 梓弓 矢筈が岳に登る楽しさ」の石碑が建立され、矢筈の急峻な地形の険しさを詠ったものです。

また、登山者の中には、「矢筈岳さんを仰ぎながら体の現状維持にと歩いて13年、500回の登山、その間、すばらしい方達や珍しい植物たちにも出会い感謝感謝の今日です」という看板を設置した方もおられます。その他にも、「山の神」を祀った祠も建てられており、風流な一面も覗かせています。

皆さんも是非、一度は矢筈岳へ登られていろいろなふれあいの場に巡り会えるようにされてはいかがでしょう。

弁甲競漕大会に初出場

【宮崎南部森林管理署】日南市

油津港内で開かれた「油津港まつり2013弁甲競漕大会」に当署の若手職員を中心に出場しました。この大会は、昔、山から切り出した飴肥杉を筏に組み、運河を使って油津港まで運び、船積みされていたことから開かれ、競技は5人一組で長さ6㍎の弁甲材にまたがりオールを漕ぎ、往復200㍎のコースで順位を競うものです。当日は、120チームが参加。当署チームは、業務服に地下足袋、「山火事用心」のロゴ入りの保安帽というユニフォームでレースに挑みました。結果は、審査員特別賞を頂くことができ、「国有林」のPRができました。



管理署チームゴールか折り返し? =宮崎南部

治山工事現場代理人等研修を開催

宮崎・熊本・鹿児島3会場で296人が受講

今年度の治山工事が最盛期となる時期を前に、(一社)熊本林業土木協会主催による治山工事現場代理人等研修会が7月10日宮崎を皮切りに、7月25日熊本、7月31日鹿児島島の三会場において、各森林管理署担当職員を含む総勢296人の参加を得て開かれました。

この研修会は、治山課、森林整備課が毎年交代で担当しており、今年度は例年になく猛暑が続



研修会へ参加された関係者

現場管理に苦慮している中で、安全を第一に、工事の早期完成に向けて努力することで認識を

ひとつにした研修会でした。(担当川治山課)

街の子らが森の恵みを体験

【大分西部森林管理署】福岡県筑紫野市のスポーツクラブからの依頼で、日田市前津江町の権現岳林木遺伝資源保存林内で日頃使っている水の源を学ぶための森林教室を行いました。165年生のシオジ、ブナ、ケヤキが鬱蒼と繁る林内で、水源の涵養や森林の働きについて学習。その後、林内を散策しながらネイチャーゲームで昆虫や植物の関わりを学びました。川の源流



熱心に説明を聞く児童ら＝大分西部

一番好きさな場所

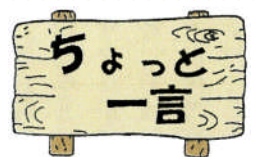


NPO法人
久住高原みちくさ
案内人倶楽部
上好 温さん

山と溪谷社選定の九州百名山、日本山岳会東九州支部選定の大分百山などに選ばれている。西麓の牧ノ戸峠や北麓の長者原から、南麓からは赤川温泉や南登山口、久住高原展望台などからの登山道があり南山麓一帯は広大な久住高原が広がる。そこからは、悠然と浮かぶ阿蘇五岳やそそり立つ壁のよつばな祖母・深田久弥氏選定の日本百名山、傾山山系の山並みを一望できる。

そんな雄大な風景の中に主峰久住山へ一本の道が続く。その登山道を進み猪鹿狼寺(いからじ)本堂跡を抜け沢を渡ると間もなく、私の好きな「原生の巨人たち」が聳くう森が広がる。私は、この樹高20mを超えミズナラ・ケヤキ・ハリギリ・カエデなどの織りなす極相とも言われるべき「巨人の森」に来ると「ゆた」とした気持ちになれ心地よい。

ここくじゅう連山の山開きは久住山と大船山で交互に行われ年間30万人余の登山愛好家・写真愛好家・山野草愛好家などが訪れ山頂を目指す訳だが、頂上



ここ久住山(くじゅうざん)は、大分県竹田市(旧久住町)にあり、くじゅう連山を形成する火山で中岳、三俣山などとともに久住山系と呼ばれる山塊をなし、坊方ツルを挟んで東側の大船山などからなる大船山系と対峙する。

西の涌蓋山(わいたさん)から東の黒岳までを含めてくじゅう

う連山と呼ばれる中の主峰である。標高1786・5mで、東にある中岳は1791mを誇る。

深田久弥氏選定の日本百名山、傾山山系の山並みを一望できる。

ここくじゅう連山の山開きは久住山と大船山で交互に行われ年間30万人余の登山愛好家・写真愛好家・山野草愛好家などが訪れ山頂を目指す訳だが、頂上

を目指さず途中の生態に目を向けることも大切なことだと思う。登山ルートも、駐車場・トイレなど整備された歩道に集中する傾向にあるが、歩道は何万人もの人が踏むことで轍となり樹木の成長や地形の維持に少なからず影響があるはずである。

そこで、行政機関やパークボランティアなどと協力し登山道の整備や乱立する看板の統一化などに取り組みこの雄大な景観と、山野草を守り久住の魅力が大勢の人に伝える活動に少しでも貢献していけたらと考えている。

夏休みを利用した森林教室 熊本市立田原小学校児童保育児童らへ

当局技術普及課では、熊本市立田原小学校保護者会からの依頼で、8月27日田原小学校低学年の児童保育児童9人を対象に森林教室を行いました。

最初に、子供たちの緊張をほぐすためのネイチャーゲームと、紙芝居を上演。子供たちは最後まで興味深そうに聞き入り、クイズにも元気に答えていました。続いて、サクラの枝を使用したクラフトのモックンづくりで

は、カラフルな糸やリボンを使い、時間が経つのも忘れ、それぞれ思い思いの個性的な作品が出来上がりました。

その後、種の不思議について学習を行い、種の模型を作って飛ばし、飛ぶ距離の競争などを楽しんでいました。

最後に児童らから、楽しく森林のことが勉強できましたとお礼の言葉があり森林教室を終りました。



(担当 技術普及課)

紙芝居の上演に真剣に聞き入る児童ら 田原小

民・国協同でクリーン活動

【熊本森林管理署】「国民の森」クリーン月間に併せ、7月31日、当署主催で「菊池渓谷周辺及び菊池阿蘇スカイラインのクリーン活動」を行いました。熊本県や菊池市、菊池渓谷を美しくする保護管理協議会、(一社)熊本林業土木協会、請負事業体、地元住民など約60人が参加。「菊池渓谷」から菊池阿蘇スカイライン沿線で不法投棄ゴミの回収を行い、一般家庭ゴミ、古タイヤや家電製品など4トントラック満杯となりました。当日は新聞社の取材もあり新聞に掲載



回収されたゴミと参加されたみなさん=熊本

載され、この活動が不法投棄の抑止力になることを期待しています。



白鳥 明信さん

一昨年、九州森林管理局が主催する出水地区の「森林研修ツアー」に参加した。機械が間伐材を自動的に等分に伐採する現場を見てとても印象的だった。

種子を播き、芽が出て込み合うと、野菜がうまく育つよう等間隔に間引きするように、木材も適した間隔がないと、健やかには育たないのを学んだ。

10年前、子供と大人の100人余りで、大隅半島の高隈山林に、檜と杉の苗木を植えた。8

年して現場を訪れたら放置されたままの若木は、雑草に押し潰されそうだった。何を育てるにも耐え間ない手入れと管理の大切さを痛感する。

JICAのシニアボランティア

森に学ぶ

線まで平原が延びていた。私にとり生来山は身近な存在で、生活の一部になっているので、山の見えない風景は侘びしく物足りなかった。

日本で、最も自然が残る沖縄

アで、カンボジアに滞在した。首都のプノンペンがある中部から古都シェムリアップのある西部一世帯までは平野で、四方八方、山は見当たらなかった。車で6〜7時間走っても地平

帯の原生林は、30年を経た今日まで脳裏に焼き付いている。

鹿児島大学農学部が主催する「高隈山研修セミナー」に参加した。高隈川の澄んだ水中を上流へ4キロ程遊歩し、岩壁から水が噴出する源流に着いた。自然の偉大さに感動した。夜、森

林で体を横たえ空を見上げたら梢の間に満天の星が輝いていた。緑の空と虫の音は、参加者を神秘の世界へ誘い、静寂の中に溶け込むと自然に対する畏敬の念が湧いた。気持ちが落ち着き、素朴な自分になれるようだった。自然がもっとも身近かに感じられる瞬間でもあった。これまで、森林のすばらしさを体験してきたし、これからも豊かな感性を育むためにも続けよう。

(鹿児島県曾於市在住)

転任挨拶

お世話になりました



前 総務企画部長
竹花 祐治

平成23年10月から1年11ヶ月、九州局に勤務させていただきました。

九州局は、「九州からの森林・林業再生」を合い言葉に、職

員が一丸となって、生き生きと取り組んでいる姿を目のあたりにし、決意も新たに組み組んできたところでもあります。この間、60年の長きにわたり歴史を刻んだ特別会計から一般会計への移行は、全職員の望みでありましたが、その瞬間に九州局の担当者として携わることが出来ましたことは、私にとっても素晴らしい経験となりました。

私も担いつつ、職員の方々がこれまで蓄積してきた知識・技術をフルに生かし、引き続き森林・林業のトップランナーとして、一歩でも二歩でも前に進まれるよう、そして、「さすが、九州森林管理局の職員だね。」とこれまでに以上に地域から評価がいただけるよう、取り組みをすることを切に願っております。私は9月からは近畿中国局に赴任しますが、九州で得られた知識・経験を生かし、向上心をもって、業務に望みたいと思います。最後に短い期間でしたが、大変お世話になりました。

インターンシップを受入 慶應義塾大学生が就業体験

技術普及課では8月1日〜7日にかけて、農林水産省就業体

験実習（インターンシップ）の受入を行いました。

今年度は、慶應義塾大学環境

情報学部環境情報学科4年の城風智さんが「大学においてセンサの研究していることから、森林管理にセンサを応用する取り組みを研究するため、不足している森林・林業の知識について勉強したい」との理由で、九州森林管理局の業務・取組などについての就業体験を行いました。実習期間中は、九州森林管理局の業務概要や技術普及課の取組事例などについて説明を受け、

技術普及課の業務の中では、技術開発における低コスト造林のコンテナ苗、エリートツリーへの関心が高く、熱心に説明を受ける姿が印象的でした。また、当課職員が独自に開発・作成した環境教育教材「シカと森林のカード」についても、「シカが増えたらどうなるのか、ゲーム形式でシュミレートしていたのが印象的だった」と、関心の高い教材だったようです。

今回の就業体験を終えて、実習生からは「国有林野事業における目標や課題、森林管理のための技術を知ることができた。大学ではセンサや情報管理を専攻しているため、森林・林業へセンサを活用した情報管理ができなにか」などの感想が寄せられ、森林・林業への貢献が期待されるそうです。短期の就業体験でしたが、この様な機会を通じて、たくさんの方との交流により、森林・林業の知識、さらには国有林の業務への理解がさらに深まり、職業選択の視野を広げてもらえればと思います。

（担当II技術普及課）

鹿児島大学生が屋外研修

【鹿児島森林管理署】鹿児島

大学農学部で、生物環境学科森林科学コースの学生を対象に、「桜島地区における治山事業」と題し、現地研修を行いました。学生24人と教授2人が参加。湯平展望所で当署の概要や国有林の役割、桜島における植物の遷移などを説明。また、桜島の治山事業の意義やこれまでの経緯などの説明を行いました。特に航空実播工の施工前と施工後の状況変化に興味を示し、早期緑化に伴う生態系の変化に強い関心を持っていました。今



現地にて説明を受ける学生ら＝鹿児島

人のうごき

9月1日付林野庁長官発令

近畿中国局総務企画部長

竹花祐治（総務企画部長）

総務企画部長

森脇和正（林野庁林政課課長

補佐（人事第1班

担当）

林野庁整備課課長補佐（総括

河野裕之（計画課長）

計画課長

近藤昌幸（環境省地球環境局

総務課研究調査室

室長補佐）

林野庁林政課会計経理第1班支

出負担当第1係

飛天舞（沖繩署）

（担当II総務課）

後もこの様な機会を捉え、治山事業のPRに努めて参ります。

第1回 国有林材供給調整検討委員会開催

8月7日、九州森林管理局において、第1回の国有林材供給調整検討委員会を開きました。

これは、木材価格急変時の供給調整機能を発揮するため、森林管理局に専門家からなる委員会を設置し、国有林材の供給調整の必要性、実施方法について検討するものであり、一般会計化に伴う新たな取組の一つです。

第1回の委員会に当たり、川端省三局長が供給調整の趣旨、意見交換の重要性などを含め冒頭の挨拶を行った後、8人の委員の互選により、遠藤日雄鹿児島大学教授を委員長に選任し、



初めて開催された国有林材供給調整検討委員会

委員会の審議に入りました。

委員会では、全国及び九州の木材の需給、価格などの動向、国有林材の供給状況などを基に、木材価格などについて極端な動きがないか確認し、供給調整の必要性などについて検討しました。この結果、現状では国有林材の供給調整は要しないとの総括となりました。

委員からは、意見として「安定した取引のため、価格急変時に国有林材として供給調整の機能を発揮することは必要。国有林材は価格の動向などに目を光らせて、様々な状況を認識して事業を行ってほしい。製材品は乾燥材を大手住宅メーカーに出すため、フル生産しており、原木価格は上がっている。虫害発生時期の調整、年度末への集中回避など、市場とリンクした供給とすべき。A材価格の維持、大径材の需要確保が課題。山側(供給側)に、価格動向などを含め情報の発信をすることが大切。このような情報の共有化を図ってほしい」などの提起がありました。

委員会は原則として四半期ごとに開催することとしており、局では、今後本格化する木材生産と秋需の動向などに注視しつつ、11月頃に第2回委員会を予定しています。

(注)第1回委員会の概要は局ホームページで公表しています。)

(担当)資源活用課

地域木材情報分析官)

民・国協同で海岸林のクリーン活動

【宮崎北部森林管理署】日向市の「日向海岸風景林」と「お倉ヶ浜海岸林」で、2日間にわたってクリーン活動を行いました。

両日には、地区住民を始め、日向市や宮崎県、日向市ふるさと自然を守る会会員など関係する団体から、2日間で約1000人が参加。林内のゴミ拾いや遊



クリーン活動へ参加された関係者＝宮崎北部

歩道の草払いなどに汗を流しました。回収したゴミは、分別して、清掃センターよりリサイクルセンターへ搬入しました。

民有林施策に係る講演会開催



講演に参加された関係者の皆さん＝熊本

【熊本森林管理署】国有林野事業が一般会計に移行し、民有林との連携が一層求められているなか、民有林施策などに関する知識や情報を得ることを目的に講演会を開き、講師に熊本県農林水産部森林局の長崎屋圭太森林整備課長を迎え、当署職員や県菊池地域振興局、熊本南部森林管理署職員約40人が参加。長崎屋課長から、熊本県の森林・林業の現状や施策、民有連携などについて講演があり、意見交換では活発な意見や質問が出るなど、今後の民有連携の一層の

推進に向けた有意義な機会となりました。

保育園児へ出前授業

【宮崎南部森林管理署】飴肥保育園児70人を対象に紙芝居と動物当てクイズなどの森林教室を行いました。紙芝居では、「きれいな空気や水は森林からのおくりもの」の話に、目を輝かせて聞き、森林にいる動物や鳥、昆虫などの名前当てクイズは大盛況で、園児達は大きな声で答えていました。最後に、森林にいる危険な動物や「森林にゴミを捨てないようにしよう」など森林を大切にすることを約束してくれました。今後もこのような活動を積極的に取り組んでいくこととしています。



紙芝居の上演に真剣に聞き入る園児ら＝宮崎南部

九州森林スポーツフェスタ 2013 in やまぐち

11月17日、福岡県篠栗町で開催される「九州森林スポーツフェスタ」は、今年で12回目となり、当署管内の若杉山国有林を活用して行われています。

森林でのエコスポーツを楽しむ、森林の恩恵を感じることで森林環境の保護・保全に対する意識の醸成を図ることを目的に、

昨年は実施イベントへの参加者が、目標の1000人を超える盛況ぶりを博するフェスタになっています。

「森林セラピー基地」の認定も受け、このフェスタを主催する篠栗町では、文化・スポーツおよび農林・商工団体など、街を上げた取り組みで受け入れ



フェスタ-PRのためのポスター

（担当）福岡森林管理署

が行われており、森林マラソンや森林浴をウオーキングなどを通じ、爽やかさと温もりと楽しさを体感することで、お仕着せでない環境保護・保全の大切さを認識できる催しとして定着してきていると準備にも余念がありません。

九州森林管理局は後援協力し、地元の篠栗森づくりの会と一緒に森づくり体験プログラム・自宅に持ち帰り苗木として育てる「ドングリの里親プロジェクト」、会場周辺への植樹指導などの企画・運営に当署が携わっています。

実行委員会では、回を重ねる毎に充実した内容と協力団体の増加につながっているものと見ており今年も多くの方が訪れると期待を寄せています。

熊本県立芦北高校林業科生が 林業実践体験研修受講

熊本県から地域林業実践体験推進事業の委託を受けている水俣芦北森林組合の依頼で熊本県立芦北高等学校林業科2年生7人を対象に体験研修を行いました。

はじめに、迫口親経理課長から、入局してからの経験談を交えながら、国有林の一般会計化までの移り変わりなど業務内容について話があり、その後、大倉孝行監査官から国有林の役割など、林野庁と九州森林管理局の組織や九州からの森林・林業再生の取組について説明があり

はじめに、迫口親経理課長から、入局してからの経験談を交えながら、国有林の一般会計化までの移り変わりなど業務内容について話があり、その後、大倉孝行監査官から国有林の役割など、林野庁と九州森林管理局の組織や九州からの森林・林業再生の取組について説明があり

午後からは小谷豊緑の普及係長の指導で「私は誰でしょう？」のネイチャーゲームでリラックした後、「シカと森林のカード」を使い、シカ・鳥と森林の関わりについてゲームを楽しみながら、生物多様性について学習しました。

その後、監物台樹木園内の樹木を見ながら、葉の構造や樹木の特徴、用途についての説明に真剣な表情で観察していました。研修生から多くの質問も出され、「初めて見る樹木の特徴が

うになった状況のなか、森林総研北海道支所の女性研究員が中心となり、「TWIN」と言う女性ハンターのためのネットワーキング組織を立ち上げたそう。



監物台樹木園内の樹木について説明を真剣に聞く生徒ら

理解でき、多くの樹種が見られて勉強になった」などの感想があり、体験研修を終了しました。
(担当)総務課



救世主は狩りガール?

アウトドアブランドに身を包みかっこよく山を楽しむ女性たちを「山ガール」と呼び、ブームになっていくこととは知っていたが、今度は「狩りガール」がブームになるのか。

この女性研究員曰く「誰かが駆除しなければならぬから、その誰かが私であると言っただけ」。駆除した鹿は解体して、神様に感謝し、おいしく食べるそう

だ。今後は、女性ハンターが狩猟を楽しむような環境作りをしていきたいそうで、アウトドアブランドに見を包みかっこよく狩猟を楽しむ女性たちが増えることを何ともし難くも頼もしく期待したいと思う。

私も焼酎片手にシビエ料理をたくさん食べようと考えている。

西都児湯森林管理署長
秋山郁男

全国高等学校総合体育大会

登山大会くじゅう連山で開催

平成25年度全国高等学校総合体育大会登山大会が、くじゅう連山の主要峰の国有林において開かれました。

この登山大会は、安全第一で山に登り、事故もなく無事に山から戻ってくるのが前提となっています。このため、登山をする際に必要となることを項目別に分けて点数を設定し、その得点で順位を競うものです。

8月2日に大分県立竹田高等学校で、各都道府県代表の男女



久住山山頂付近を登る選手たち
ちい大分

登山行動期間中は天気に恵まれませんでしたが、選手らはテ

91チーム364人の選手と天会関係者が出席し開会式が開かれ、その後、自然観察、気象知識などを問う筆記試験や、テント設営などの審査が行われました。

登山行動は、8月3日から8月5日にかけて九州本土最高峰の中岳1791m、くじゅう連山主峰の久住山1787m及び大船山1786mで行われまし



奄美大島から沖縄地方に普通にある常緑の小高木です。亜熱帯には硬くて用材(住宅用)になる木が少ないことから、普通にあるイシユが建築用材として使用されました。

特殊な使用方法として、この樹皮を魚毒として利用し魚を捕っていたそうです。エゴノキの果実と同じ使用方法だったと推測します。

奄美地方以南に分布していますので観察の機会は少ないです。奄美大島の国有林は、森林生態系保護地域に指定されました。

ソトや食料など重い荷物を背負いながら、優勝を目指して、くじゅう連山の険しい登山道を踏破しました。

なお、当署では、この登山大会の開催に先立ち、登山道の修理や登山道沿いの枯木の伐倒を行い、登山大会の安全な運営に協力しました。
(担当 ちい大分森林管理署)

71 イシユ (ツバキ科)

何時か訪れて亜熱帯照葉樹林を観察したいものです。小笠原の里山でも普通に観察出来ました。果実は木質の瘦果で扁球形、5弁に胞背裂開し、中軸は宿存します。花は5個の花弁にたくさん黄色の雄しべがあります。種子は扁平、腎形、外縁に狭い翼があります。

樹木園の中央東側に胸高直径20cmを超えるイシユがあり、4〜5月にはたくさん花を咲かせます。オチャの花を一回り大きくしたような花弁の白と雄しべの黄色が目立つ花です。



お悔やみ申し上げます

山下憲明 様

局企画調整課勤務、農林水産技官山下憲明様は7月9日、ご逝去されました。(享年60歳)

井手常高 様

熊本森林管理署矢部内大臣森林事務所勤務、森林技術員井手常高様は8月25日ご逝去されました(享年58歳)



この夏は「異常気象だった」と誰もが感じているのではないだろうか▼報道などで「最高気温の更新」「猛暑」「小雨」「ゲリラ豪雨」「雷」などの言葉をよく耳にした。天候や気温にはあまり関心のない私でも、この夏は特別に「暑い」と感じた▼日頃は庭木に水など与えたことのない私が、「暑いな・・・庭木も大変だろうな」と思い散水をしてしまうほどの暑さで、そのたび「奥山の木々は水も与えてもらえないのに丈夫なものだ」と感心していた▼庭木の管理もよいが、自分自身の健康管理はどうだろうか。この春から腰痛がひどくなり定期的に通院している。運動不足と実感しているから何も対策を講じなかったツケが回ってきた。これ以上悪化しないように適度な運動を心がけたい▼10月1日から国家公務員健康週間(昨年までは国有林野事業労働衛生週間)が始まる▼暑過ぎたこの夏、疲れた体をいたわるのにはちょうど良い機会である▼「調子はいかがですか」と少しだけ自分の体に敏感になって問いかけてみてはどうだろうか。(健)